

事務局ニュース

2025年 第3号
発行：2025年3月24日

(公財) 日本ユニセフ協会協定地域組織/岐阜県ユニセフ協会
〒509-0197 岐阜県各務原市鵜沼各務原町 1-4-1
生活協同組合コープぎふ 1階

電話 058-379-1781 FAX058-379-1782

E-mail:gifuken@unicef-gifu.jp

<https://www.unicef-gifu.jp>

★2025年1月募金額 119,740円★



“暑さ寒さも彼岸まで”の言葉通り日中は気温も上がり春めいてまいりました。また花粉症の方にとってはつらい時期かと思います。ご自愛くださいね…。ユニセフ活動は定期募金・出前授業に加え、コープぎふ職員全員集会・募金受取などあり忙しい日々を過ごしています。

活動報告《2025年2月23日(日)～2025年3月22日(土)》

2月23日(日) JA ぎふおんさい広場はぐり店第36回定期募金活動4名参加

★募金金額 18,560円★



来客数は多かったですが、素早く車に乗り込まれる方が多かったです。そんな中でも3才位の男の子がご家族と一緒に、また、小学生低学年の女の子も募金してくださいました！「あんたたち、また会ったね！」と言ってご婦人が募金してください、顔を覚えられているのも嬉しかったです。マンスリーサポーターを継続されている方に、寄付金控除について質問を受けました。



寄付金控除をするためには確定申告が必要ということをボランティアみんなが共通認識しておくことが必要だと感じました。またパンフレットやリーフレットもすぐお渡しできるよう用意して活動することが大切だと反省しました。

3月10日(月) 海津市立城山小学校6年生出前授業(40名2クラス)



岐阜駅から車で1時間半かかる遠方の学校です。城山小学校の名の通り、城跡の丘の上にある小学校です。社会科「世界の未来と日本の役割」の授業で、国連やユニセフの説明、ユニセフで活動している人たちの紹介をしました。



40名という、活動にちょうどいい人数で講義をしっかりと聞いてくれ、3つのブースの体験でも(水かめ運び、保健と栄養、識字)スムーズに進行しました。

3月11日(火) JA ぎふおんさい広場鷺山店 第41回定期募金活動。5名参加

★募金金額 13,111円★

募金活動中ずっと雨がシトシト降り、寒い日でした。朝から駐車場はかなり混んでいたので「何でかな？」と不思議に思いましたら「朝のテレビ番組でおんさい広場鷺山店のことを紹介してたよ！」とお聞きして混雑理由が分かりました。目的の品物を買ったら直ぐに帰ってしまう方が多くて募金額は少なかったですが、めげずに続けていきたいと思います。



3月13日(木) コープぎふ職員全員集会(店舗他) 可児市文化センター・アール★募金金額 17,105円★

コープぎふ職員全員集会の中で2024年度ユニセフ募金贈呈式を行いました。お礼の挨拶終了後、昼食・休憩時間を利用して募金活動をおこないました。職員の皆さまご支援ありがとうございました！これからもよろしくお願いします。

3月13日(木) 揖斐川町立小島小学校 6年生出前授業 24名(1クラス)

6年生の社会科「世界の未来と日本の役割」の単元の授業です。最初に簡単にユニセフの説明をおこない、世界の子どもたちの抱えている課題について説明しました。その後3つのブース(水運び、保健と栄養、識字)を順次体験し、その後国連の説明、ユニセフの支援活動の説明をおこない、最終的には「行動する!」ことにつながるように授業をすすめました。



3月16日(日) JAめぐみのとれたひろば関店 第43回定期募金活動5名参加★募金金額 20,116円★

店頭には多くの出店がありました。子ども連れの家族が何人かいましたのでミニ募金箱をお渡したらとても喜んでくれました!今回は新しいボランティアが参加してくれました。終了30分前には中学生ボランティアを迎えに来た弟くん二人とお母さんも参加してくださいました。「募金お願いちま〜す!」という年中さんの呼び掛けにお客さまが「募金しなきゃあね!」と言ってそれぞれの募金箱に入れてくださいました…。子どもの力はすごいですね!賑々しい募金活動でした♡



3月17日(月) 各務原市立鶴沼第二小学校 募金取

★募金金額 9,600円★



この学校は福祉委員会が中心となって、アルミ缶収集をしています。いつでも生徒さんたちが自発的に学校にアルミ缶を持ち込めるように回収ボックスを設置して定期的に業者がアルミ缶を回収するそうです。そのお金を福祉委員会で話し合い何処に募金するのか決めるそうです。今年はユニセフに募金したらどうかという委員会の中で声上がり話し合って決めたそうです。一昨年もユニセフ募金をしてくださっています。ありがとうございました♡

3月21日(金) 外国コイン募金を日本ユニセフ協会に送りました。

ユニセフ募金としてお預かりしている1年分の外国コイン約6kgを日本通運(株)岐阜航空営業所へ持ち込みました。日本通運(株)はユニセフ外国コイン募金実行委員会メンバーであり、無償で国内輸送を引き受けてくださいます。他には“毎日新聞社 日本航空 三井住友銀行 JTB”が実行委員会メンバーです。国内外でユニセフ募金にご協力いただいております。



3月22日(土) コープぎふ職員全員集会(宅配他) 不二羽島文化センター★募金金額 42,833円★

初めての会場でおこなわれました。久しぶりになつかしい方々にお会いできました。マンスリーサポーターをやってくださる女性からは「このように現金で募金するのは初めてでなんだかうれしいです」と声をかけてもらい、こちらもとでもうれしい気持ちになりました。コープぎふの役職員の皆様ありがとうございました。



これからの活動予定《2025年2月24日（月）～ 4月30日（水）》

3月30日（日）	JAぎふおんさい広場 はぐり店 第37回定期募金活動
4月2日（水）	コープぎふ新入職員研修ユニセフ学習会 コープぎふ各務原支所会議室
4月7日（月）	④スタッフ会議・第51回出前授業研究会
4月8日（火）	JAぎふおんさい広場 鷺山店 第42回定期募金活動
4月20日（日）	JAとれったひろば 関店 第45回定期募金活動
4月22日（火）	コープぎふ生産者メーカー組織「虹の会」総会参加（広報・ユニセフ募金活動）
4月27日（日）	JAぎふおんさい広場 はぐり店 第38回定期募金活動

2025年JAぎふ JAめぐみの募金活動日

ご都合のつくときに ご参加ください。「できるときに できることを」 ご一緒にしましょう。

全会場 10時から12時	おんさい広場鷺山 毎月第2火曜日	とれったひろば関 毎月第3日曜日	おんさい広場はぐり 毎月最終日曜日
4月	8日	20日	27日
5月	13日	18日	25日
6月	10日	15日	29日
7月	8日	20日	27日
8月	12日	17日	31日
9月	9日	21日	28日
10月	14日	19日	19日
11月	11日	16日	30日
12月	9日	21日	21日

・・・お知らせ・・・

**5月31日(土)13:30～15:30メディアコスモス「かんがえるスタジオ」で
“ユニセフカフェ”を開催します。**

一般の方はもちろんですがボランティア登録されている方はぜひご参加くださいますようお願いいたします。肩苦しい話ではありません…。お茶を飲みながら世界の子どもたちの現状とユニセフの活動についてお話しませんか？お知り合いの方をお誘いしてお越しください！お待ちしております。
4月事務局ニュースで詳細をお知らせします。



再び、ガザ地区への攻撃激化 世界の子どもたちは大変な状況のなかにいます。

★3月19日/ガザ地区への攻撃 「1日当たりの子どもの死亡数として最多」 ユニセフ事務局長、停戦状態の回復求める
15か月以上にわたる戦争を耐え抜いてきたガザ地区の100万人の子どもたちが、再び恐怖と死の世界に突き落とされました。攻撃と暴力は今すぐ止めるべきです。すべての当事者に対し、ただちに停戦状態を回復することを強く求めます。



© UNICEF/UNI764674/EI Baba

がれきと化した自宅跡に座るアハメドさん（10歳）。「戦争はもう嫌だ。二度と起きてほしくない。大切な人がいなくなるのが怖いから」と言う（パレスチナ、2025年3月18日撮影）

★3月17日/物資・電力奪われたパレスチナの子ども 240万人ほぼ全員が紛争の影響受け ユニセフ「国際人道法の遵守を」

★3月14日/欧州・中央アジア、はしか感染急増 12万7,350件と過去25年で最多 ユニセフら緊急対策を呼び掛け

★3月13日/スーダン 未来を脅かす栄養危機 命を守る、ユニセフの支援
3月12日シリア：ユニセフの支援がもたらす希望～困難を乗り越え、未来を切り開く

20カ月以上続く紛争で栄養不良の割合が急増しており、スーダンはかつてない栄養危機に直面しています。今年中に5歳未満の子ども約320万人が急性栄養不良に陥る可能性があり、そのうち77万人以上は重度の急性栄養不良に苦しむと予想されています。



© UNICEF/UNI645800/Tarig

栄養不良の検査を受ける、14か月のイスマイルちゃん（スーダン、2024年9月17日撮影）

★3月12日/ロヒンギャ難民キャンプ 重度急性栄養不良の子ども27%急増 海外援助の削減で飢餓の危険に

★3月10日/シリア、子ども含む民間人が多数死傷 「和解と平和的な政権移行を」 ユニセフ地域事務所代表声明



© UNICEF/UNI736113/Azizi

★3月7日/3月8日は国際女性デー 女の子を取り巻く変化、まだ不十分 ユニセフら、一層の努力を呼び掛ける

中学2年生のときに女子中等教育が禁止され、その後3年半にわたり、学校に通えずに家で過ごしているラムジアさん。「友達や先生に会いたくてたまらない。将来への希望も持てないでいます」（アフガニスタン、2025年2月10日撮影）

★3月6日/「海外援助の削減は子どもたちの命を脅かす」 ユニセフが警鐘、支援継続を訴え

★3月4日/ガザへの物資搬入停止 「子どもたちに過酷な結果をもたらす」 ユニセフ、国際法遵守と停戦維持求める
3月4日戦闘続くスーダン 子どもへの性的暴行増加、最年少は1歳 ユニセフ、新報告書発表